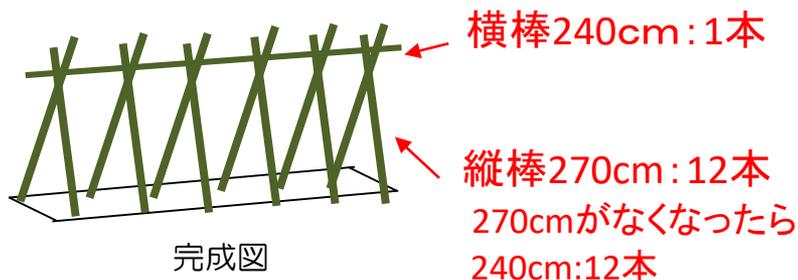


注意：経験年数に関係なく、必ず本手順に従って作業をお願いします。

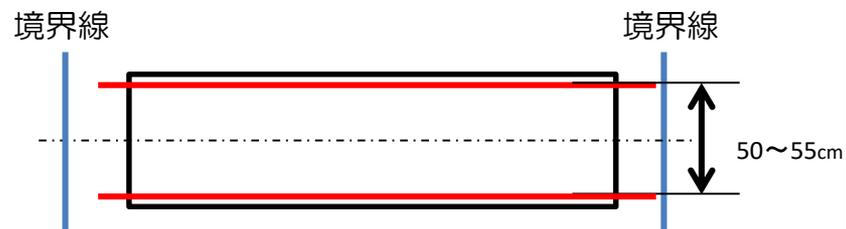
例年回っていると、約10組位の方が誤った作業をしています。特に以下注意ください。

- ・間縄を使わず採寸する → 支柱位置が大きくなります
- ・縦棒を全て立ててから横棒を乗せる → 支柱が折れて使えなくなります
- ・縦棒を横棒の上側で交差させる → トマト等の重さに耐えられなくなります

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。トマト/きゅうりの茎を支柱に麻紐で固定し、上方へ成育させます。



②マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決めます。



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか少し内側になる位置にします

①道具の準備

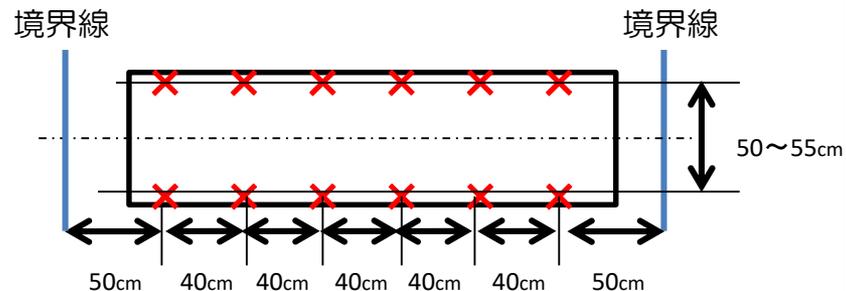
支柱とビニール紐を準備する

- ・支柱(横棒1本、縦棒12本、計13本)
- ・ビニール紐12本(スズランテープ)
- ・メジャー、**間縄**

※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は 270cm12本、240cm1本をお持ちください。270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを使用ください

※ビニール紐は、スズランテープを60~80cm程度各自切り出してください。

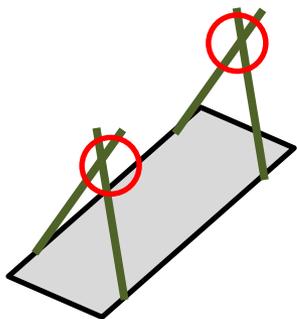
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、指などでマルチに穴をあけます。



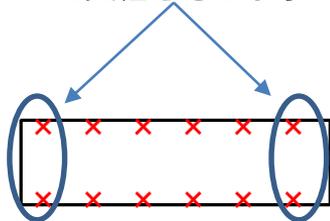
※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、本農園では40cm間隔としています。

④両端の支柱(縦棒)を、下図のようにに交差させて穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。

※支柱を強引に曲げないように注意すること

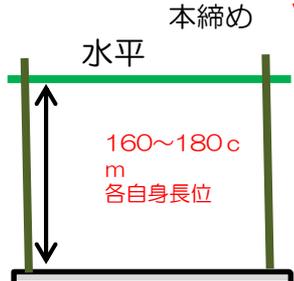
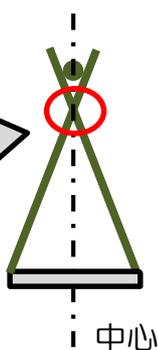
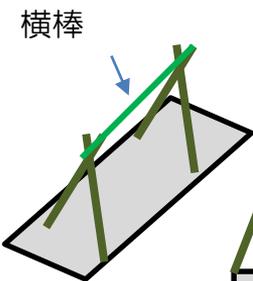


③であけた両端の穴に支柱をさします



※写真は麻紐ですが、以下ビニール紐を使ってください

⑤上方に支柱(横棒: **240cm**)をのせ、マルチ中心位置、水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。高さは作業者の身長が目安です。あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。

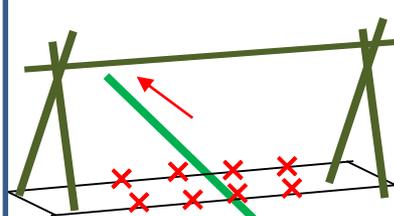


3本まとめてビニール紐で本締め

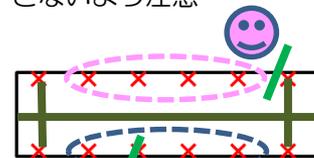


安定したら本締め

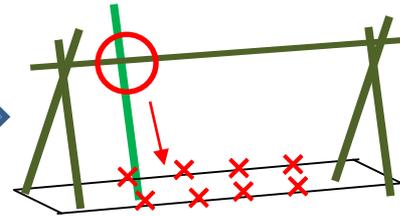
⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする



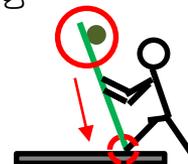
支柱を**横棒の下から通す**
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意



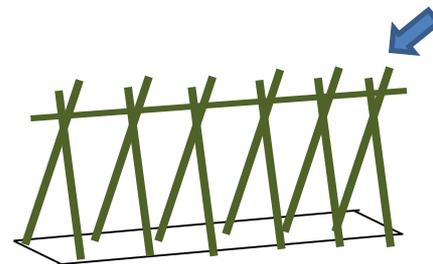
差し込み側の方に立つと効率よく作業できます



上の支柱に沿わせながら穴に差し込む



足で支柱を支えながら差し込むと、支柱を曲げずに、効率よく立てられます



残りの支柱も同様の手順で穴に差し込みます



全ての支柱を立てた後3本まとめてビニール紐で本締めします

⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。スカスカの場合、ビニール紐を結びなおす。問題なければ、使った道具を片付ける